

令和7年度 第3回 西気賀小学校運営協議会

日時：令和7年11月6日（木）10:00～11:30
場所：西気賀小学校 竜宮館



和船活動（細江湖一周）



田植え体験



稲刈り体験



はぎかけ体験

運営協議会次第（10:00～11:30）

- 1 開催要件確認
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 議長の選出（出席した委員の中から互選）
- 5 前回会議録確認（CSディレクター石原）
- 6 授業参観【目的・・・学校（児童・教員）の実態を知る】
 - ★参観の視点（グランドデザインより）
 - ①主体的に学び 共に高め合う（知）
 - ②自分らしく輝く（徳）
 - ③健やかな心・体をつくる（体）
 - ★今年度の取り組み【 授業参観…10:30まで 】
- 7 熟議（議長： 委員 、 記録：CSディレクター石原）
 - （1） 西気賀っ子に、どんな力が必要か
 - ※来年度どんなところに力を入れていく必要があるのか
 - ①グループワーク（ホワイトボードに記入）
 - ②全体共有（各グループ発表者）
- 8 連絡事項
 - （1）持久走記録会
 - 日時 12月16日（火） 9:00～9:45 西気賀小学校運動場、サイクリングロード
 - 【予備日】17日（水）
 - （2）第4回 学校運営協議会
 - 日時 1月30日（金） 運営協議会 10:00～11:30
 - 内容：令和8年度学校運営基本方針、学校関係者評価、自己評価
 - 議長：（ ）
 - ※自己評価の用紙を事前に送ります。御記入の上、第4回に御持参ください。
 - （3）にしきがっ子発表会・懇談会
 - 日時 2月13日（金）午後 西気賀小学校
 - ※子供たちの発表を聞いて、感想を伝えたり、質問したりしてください。
 - （4）来年度以降の学校運営協議会委員について（R7年度は、第2期2年目）
 - R3～R5…第1期 、 R6～R8…第2期 、 R9～R11…第3期

令和 7 年度 西気賀小学校学校運営協議会委員(7 名)

氏 名	役 職 等
杉浦 雅巳 A	寸座民生児童委員
金子 義徳 B	寸座自治会長(自治会長代表)
柴田 昌男 B	下村民生児童委員
西岡由紀子 B	中区民生児童委員(学校支援CD)
柳瀬 幸一 A	和船ボランティア会長
縣 智美 A	元PTA会長(学校支援CD)
佐藤 憲孝 B	PTA 会長(学校支援CD)

【学校】

中道 昌良 A	校長
徳増 弘宣 B	教頭
石原 知子 A	CS ディレクター

令和7年度 第2回 浜松市立西気賀小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月25日（金） 13時30分から15時10分まで
- 2 開催場所 西気賀小学校 図書室
- 3 出席委員 杉浦雅巳、金子義徳、西岡由紀子、柴田昌男、柳瀬幸一、佐藤憲孝
- 4 欠席委員 縣智美
- 5 学 校 中道昌良（校長）、徳増弘宣（教頭）
提髪英幸（2年担任）、村田友香（3・4年担任）
谷川勇介（5・6年担任）CS ディレクター 石原知子
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 会議録作成者 CS ディレクター 石原知子
- 8 議長の選出 杉浦会長から柴田委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。
- 9 前回会議録確認 CS ディレクター石原より、今年度の目標（取組の重点）を中心に、前回の内容を確認した。
- 10 協議事項 (1)学校評価アンケート結果（教務主任）
(2)各学級の1学期の取り組み（担任プレゼンあり）
(3)グループディスカッション
- 11 会議記録 司会の徳増教頭から委員総数7名中6名の参加があり、過半数を超えているため会議が成立している旨の報告があった。
- 12 熟議
各グループの討議内容は以下の通り
A グループ（杉浦会長・佐藤委員・徳増教頭・提髪先生）
○学校評価アンケートを受けて
・いじめについて数値が減少している。
・一年生が元気に活動し生活出来ている。
○地域との関わり方について
・地域の様々な交流が有り地域に馴染んでいる。
○CS として今後活動に必要なこと
・西気賀の良さを交流する活動により親を巻き込み伝えていけたら良い。
B グループ（金子委員・柴田委員・中道校長・村田先生）
○学校評価アンケートを受けて
・子供達の性格がとても良い反面、コミュ力が弱い所を鍛えたい。
○地域との関わり方について
・西気賀の良さも地域学習をしながら地名の由来なども学べると良い。
・地域の方が色々なイベントを企画して大きな協力をしてくれるので感謝している。
○CS として今後活動に必要なこと
・地域との関わりを今後の教育活動で継続していくことが大切だと思う。
C グループ（西岡委員・柳瀬委員・谷川先生・石原 CS ディレクター）
○学校評価アンケートを受けて
・地域と学校のつながりが強く活動にも異年齢と関わる事が出来るのは良いと思う。
・子供達がメッセージカードなどで振り返る習慣づける事で人間形成が出来ている。
○地域とのかかわり方について
・子供達が卒業後、振り返って西気賀小と地域の方との繋がりの良さを実感して欲しい。
○CS として今後活動に必要なこと
・継続的な活動をして頂きたいので地元のボランティアの育成をしないといけないと思う。

13 その他連絡事項

司会の徳増教頭より今後の活動予定について報告があった。

○第3回学校運営協議会

日時 令和7年11月6日(木)10:00～

内容 西気賀っ子に、どんな力が必要か

○第4回学校運営協議会

日時 令和8年1月30日(金)10:00～

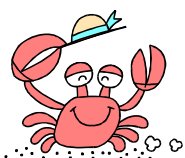
○スポーツフェスティバル

日時 令和7年10月11日(土)8:10～11:00 場所 西気賀小体育館

○参観会

日時 令和7年11月20日(木)13:00～13:45

○自己評価について



西気賀小

R7. 9月発行

NO.2

コミュニティ・スクール便り

～グループ討議で西気賀小学校を語る～

毎日暑い日が続きますが皆さん、元気にお過ごしでしょうか？猛暑が続く日々、エアコン等を利用して体調に気を付けてお過ごしください。

さて、7月25日(金)に令和7年度第2回学校運営協議会が開催されました。今回は各学級の担任の先生も会議に参加していただき、運営協議会委員の皆さんとグループ討議を行いました。

まず各学年の1学期の教育活動について担任の先生から説明がありました。これを通して子供たちの日々の活動や様子が分かったことと思います。

その後、3グループに分かれての活発な意見交換を行いました。各グループで出た意見・内容をまとめたものは会議録に掲載されておりますのでそちらを御覧ください。どのグループも西気賀小が地域とともに歩み、支えられていることを再確認できました。小規模校ならではの良さもさることながら、「子供たちの地域に対する思いを将来につながるよう、継続的に活動できるようにしたい。」という意見が多く出ました。

継続的なボランティア活動・教育活動への参加・協力をしていただくために、組織づくり、仕組みづくりが今後の課題になると思いました。



グループディスカッションの様子



浜松市立西気賀小学校 グランドデザイン

学校教育目標「湖畔に輝ける子ら」

学校経営目標 **主体性が育まれる学校づくり～にしきがっ子を合言葉に～**

合言葉 **にこにここと じぶんから きもちをこめて がんばる子**

＜目指す子供像＞

自分らしさを輝かせながら
様々な場面で主体的に取り
組む子

＜目指す学校像＞

一人一人が主役であり、安心
して精一杯学び、明日も楽し
みな学校

＜目指す教職員像＞

一人一人の子供のよさを
捉え、成長を支える教職員

**主体的に学び
共に高め合う（知）**
（自信をつける場）

自分らしく輝く（徳）
湖畔にきらめく さざ波 のように
一人一人がそれぞれ輝く
（自己肯定感・主体性を高める場）

**健やかな心・体をつくる
（体）**
（自信をつける場）

**キャリア教育
の視点**



かかわる力（人間形成・社会形成能力）

自分を知る力（自己理解・自己管理能力）



考える力（課題対応能力）

つなぐ力（キャリアプランニング能力）

**自分事として学び、
社会や未来につなげる**

- 子供と教師による学びの意味・価値の共有
- 振り返りのタイミングと活動へのフィードバック
- 学びを生かす家庭学習の充実

**対話を通して学びを
深める**

- 全学年に共通した授業展開を基盤にした、柔軟な展開の追求
- ペア学習・全体交流での対話的な学び、コミュニケーション力の育成
- 協働的な学びやICTの活用を生かした授業改善

**自分を見つめ、自信を
もってやりぬく**

- 自己を振り返る「自分を見つめる日」の実施
- 目標を細かな段階に分け「見える化」し、ポジティブな行動支援を機能させる
- PDCAサイクルで成長を促す明日葉カード・行事の設定

友達とともに輝く

- 友達のよさを見付ける「輝きを見付ける日」の実施
- 企画力を育む縦割り班・全校活動への参画体験
- 多くの友達と関わる異学年との交流活動の実施

健やかな生活習慣を築く

- すこやかチェックの実施
- 心や体への影響を学ぶ「メディアの日」の実施(年間5回)

**進んで運動し、体力を
高める**

- スポーツフェスティバルの実施
- チャレンジ運動の実施
- 基礎体力を高めるサーキットトレーニングの実施
- 適切な目標設定と共有
- スモールステップによる達成感の向上

西気賀小コミュニティ・スクール

地域とともにある学校づくり推進

学校・家庭・地域(西気賀の子どもを育てる会)が協働して育てる土壌・地域の強みを生かした学校支援活動

社会に開かれた教育課程の実現

細江中学校区で目指す子供像

「夢と希望をもち、力強く歩み続ける子」

基本理念【描く夢や未来の実現】「主体性」「多様性・包摂性」「信頼・協働」

- 自分らしさを大切にするこども
- 他者と協働し、主体的に行動できるこども
- 自己調整しながら、粘り強く取り組むこども
- こどもの自分らしさを受け止める教職員
- 愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- 専門性と指導力を磨き続ける教職員

新学習指導要領【理念：よりよい学校教育を通して よりよい社会を創る】

社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となる子の育成

自分のよさや可能性を認識

他者を価値ある存在として尊重

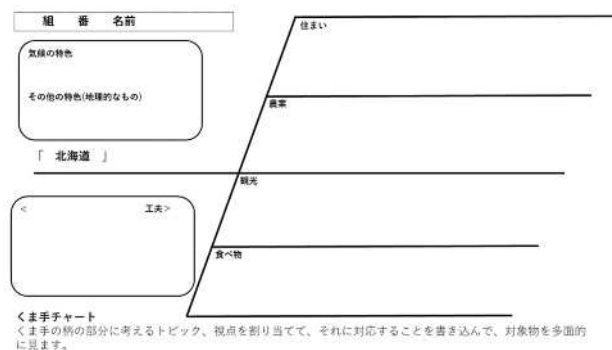
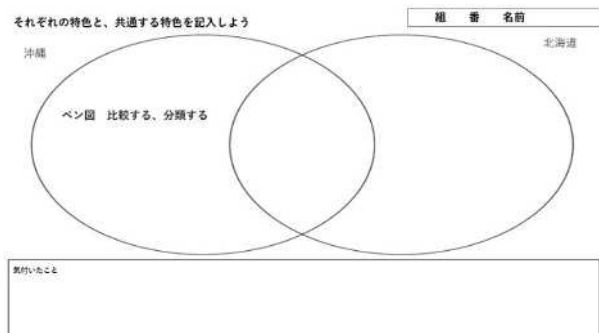
多様な人々との協働

《 今年度の取り組み 》

主体的に学び 共に高め合う（知）

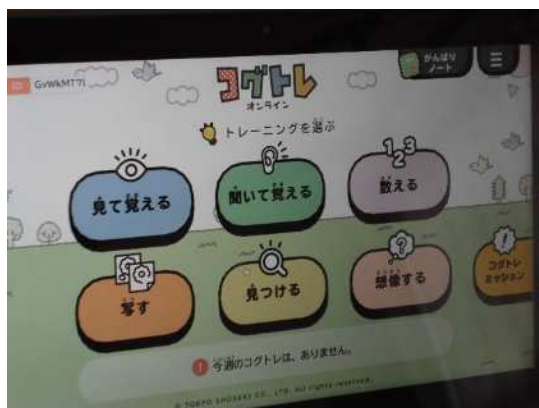
対話を通して学びを深める

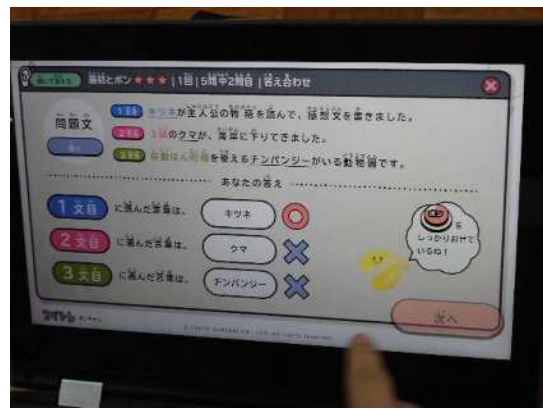
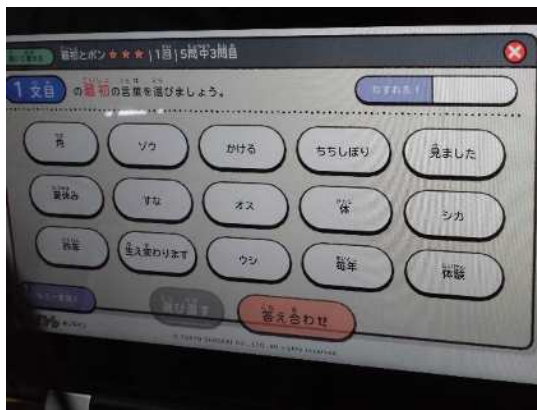
・ 思考ツール



・ コグトレ【コグニティブ（認知）・トレーニングの略称】

（認知機能に着目したトレーニング）





・活動を学びにつなげる



自分らしく輝く（徳）

自分を見つめ、自信をもってやりぬく

・「自分らしさの花」「きらっとカード」



- ・企画力を育む縦割り班・全校活動への参画

①「西気賀っ子ミーティング」

全校で話し合って活動を決め、各学級が企画・運営



健やかな心・体をつくる（体） 進んで運動し、体力を高める

- ・スポーツフェスティバル・チャレンジ運動



- ・スモールステップによる達成感の向上



1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年 浜松市教育委員会規則第2号）第8条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

＜評価項目＞

（必須） ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。
- 3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。
- 4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標

※ 各協議会で追加する項目があれば5以降に設定する。

4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、ＣＳ便りや学校のホームページ等を活用し広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6 評価結果の報告と改善支援

(1) 教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

(2) 教育委員会による改善支援

ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ 評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

この実施要項は、令和5年4月1日から施行する。

(様式2)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

＜本年度の目標＞

--

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

--

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

--

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

--

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

--

（様式２）

令和７年度 学校運営協議会自己評価表

委員名（ ）

＜本年度の目標＞

- ※ 前年度に協議会で協議した目標を記載する。
- ※ 目標が、会議体として相応しい目標となっているか、また、学校運営の基本方針に関わることを中心に据えられているか等を確認する。

＜評価項目１＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
（理由）

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目１をもとに、振り返る。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
- ※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に評価する。

＜評価項目２＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
（理由）

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目２をもとに、振り返る。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
- ※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

＜評価項目３＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
（理由）

- ※ 協議会での協議結果（会議録への記載内容等）について、どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。

＜評価項目４＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ※ 委員個人の目標ではなく、協議会の目標を記載する。
- ※ 学校運営協議会は、会議体であるため、会議体として相応しい目標を設定する。委員が、個人としてボランティア活動に参加することは想定されるが、学校運営協議会がボランティア活動の主体となることは想定していない。
- ★ 自己評価の結果については、学校ホームページで公表する。